

## 南方（後楽館）遺跡発掘調査現地説明会資料

平成 21 年 4 月 25 日 岡山市教育委員会文化財課

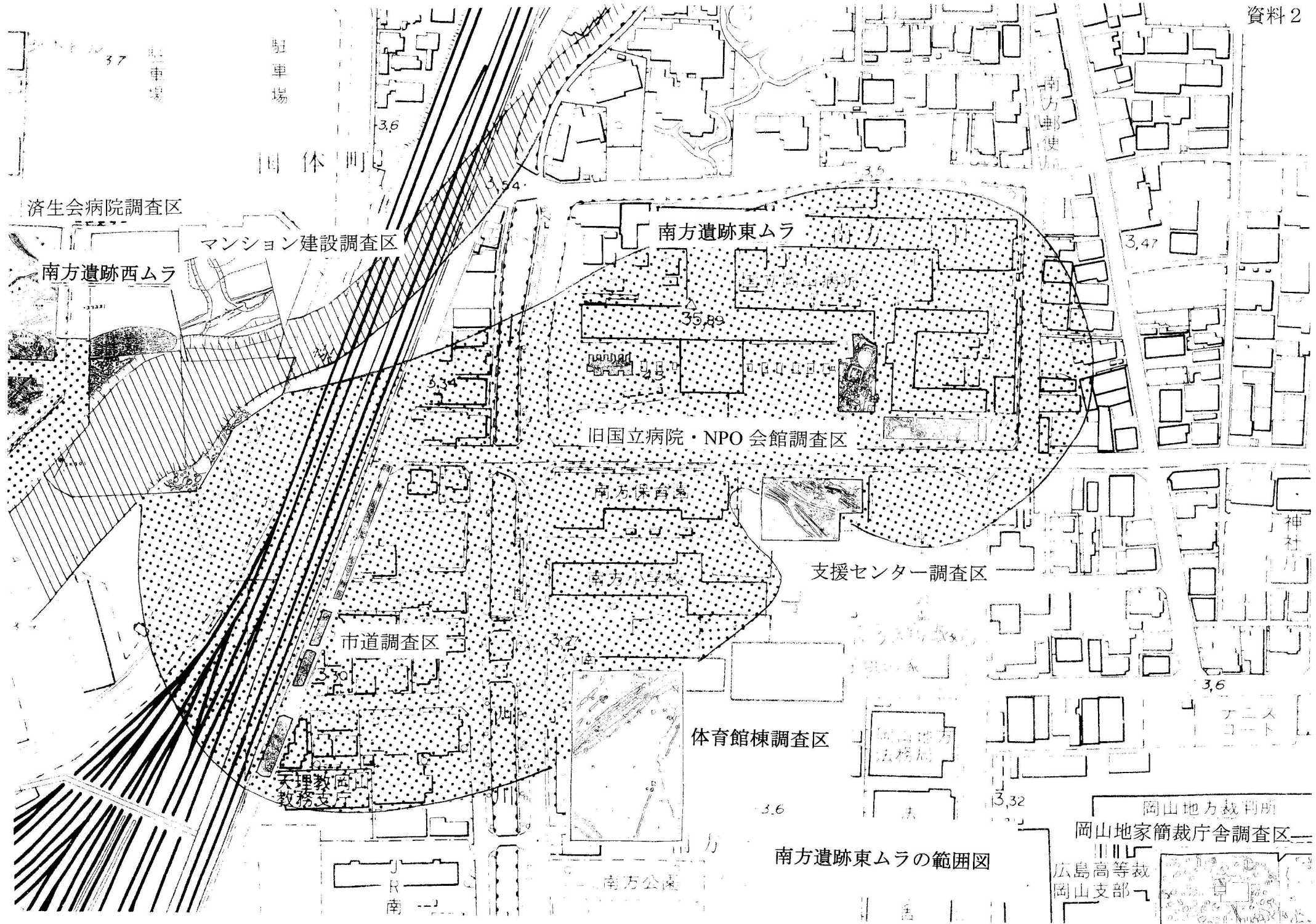
平成 21 年 2 月から、岡山後楽館中学校・高等学校の体育館棟建設に伴って約 2,100 m<sup>2</sup> の発掘調査をおこなってきました。その結果、弥生時代前期と中期のムラと江戸時代の粘土を採掘した穴がみつかりました。以下、その概要を説明します。



南方（後楽館）遺跡位置図：S=1/5,000

### 南方遺跡の範囲とは？

まず、南方遺跡の概要を説明します。南方遺跡は、岡山県の弥生時代中期を代表する集落遺跡です。近年の調査では、弥生時代前期の後半段階から集落が形成されていることが確認されています。弥生時代前期の前半段階で出現した当地の拠点集落である津島遺跡が移動したものと理解されます。遺跡の範囲は広く、東西 1 km、南北 800m ほどの範囲となります。しかし遺構や遺物が特に集中するのは、元の国立病院が立地している部分と済生会病院の立地している部分です。両者の間には、旧西川が流れていたことが発掘調査で確認されています。南方遺跡は、旧西川を挟んで核となる 2 つのムラ（南方遺跡東ムラ・南方遺跡西ムラ）と周辺の子ムラによって構成されていたと考えられます。今回の調査は南方遺跡の東ムラの南端に相当する地点になります。



### 弥生時代前期の概要

調査区の北側に広がっているムラを区切る溝と井戸がみつかりました。溝は、幅約 2.5 m、深さ約 0.7 m で直線的にのびています。溝は部分的に分岐して二重に区画する部分をつくりだしています。溝の内側には柵列がありますが、一部途切れています。途切れている部分に隣接する溝底には柱穴が 1 つあり、溝を渡るための簡単な橋板を支えた支柱の痕跡と考えられます。つまり、ムラの入り口であると考えられます。

溝を渡ってムラに入ると、その右側に直径が約 1.2 m の素掘り井戸に、幅約 1.9 m、長さが約 2 m のエプロン状の降り口が付属した井戸があり、井戸底付近からは完全な形の壺形土器が出土しました。井戸は弥生時代になってから出現しますが、前期から存在するという意見と中期から存在するという意見に分かれています。今回出土した井戸は、前期に井戸が存在することを示す例といえます。また、京都府の市田斎当坊遺跡では、中期前葉の例ではありますが、ムラ境の溝付近から井戸がみつかりました。弥生時代の古い段階では、ムラの境界に井戸を掘削することを「きまり」としていたムラも存在していたのではないのでしょうか。そういった井戸の用途としては、例えば、ムラに入る際に、「禊ぎ<sup>みそぎ</sup>」等の祭祀的行為をする際に用いられたことも想像されます。

### 弥生時代中期の概要

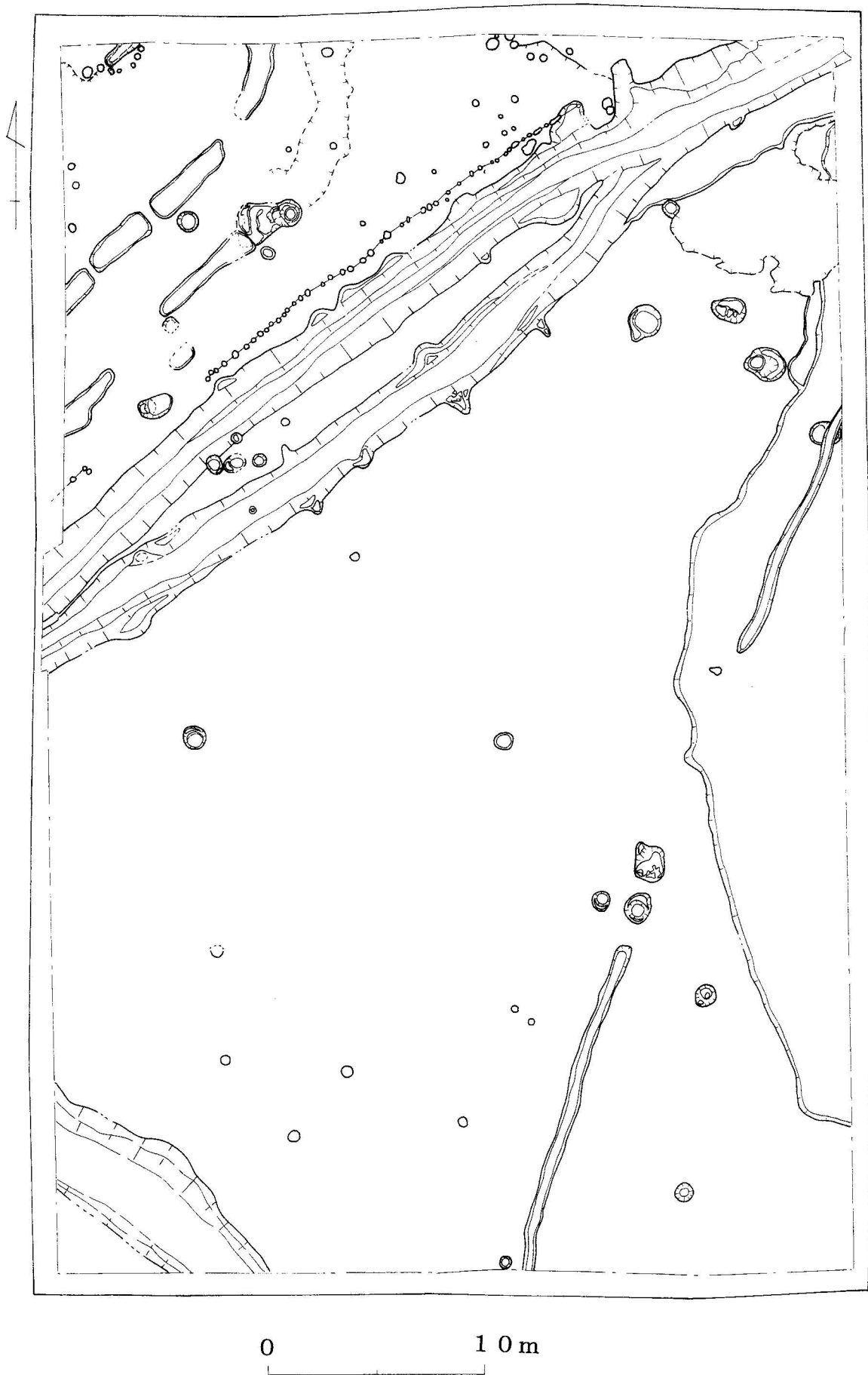
弥生時代中期においても、同様にムラの南端部分に相当します。ムラを区切る溝はなくなり、井戸や土壇などが見つかっています。ムラの生活域が拡大している様子がかげえまます。とくに土壇については、形状と大きさから 3 種類に分けられます。最も大きく不整形なものは単独で存在しません。これらの土壇は、貯蔵穴のような形状ではないことや、粘質の強い基盤層の中で掘削を終えていることから、土採掘のために掘られたのではないかと推測されます。大きな土壇が幾つかの土壇とまとまっていることは、安定的に土を採掘していたグループがより大きく土を採掘していったことを示していると思われる。

### 江戸時代の概要

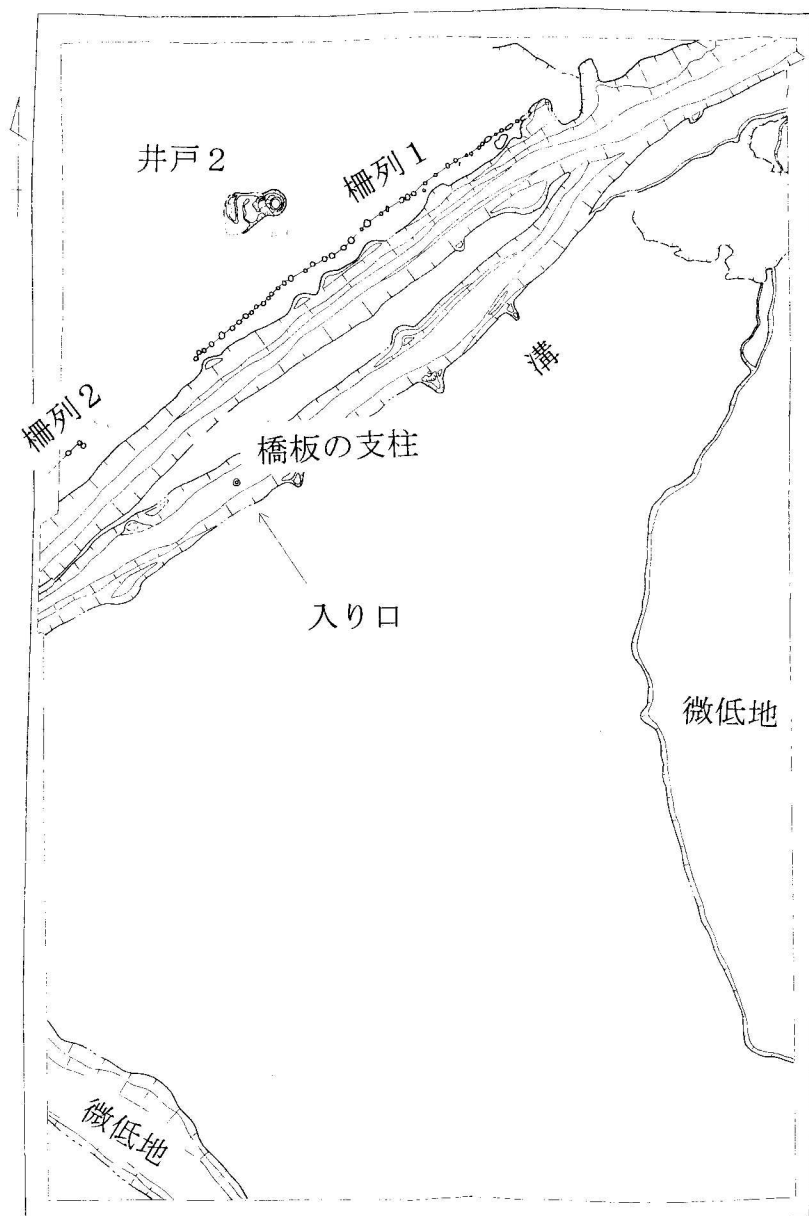
瓦等の生産に用いたと考えられる粘土を採掘した穴が並んで出土しました。現在は失われていますが、このあたりは基盤目状に区画された「条里地割」があり、粘土採掘穴はその地割りに沿って掘られたと考えられます。

### 調査成果のまとめ

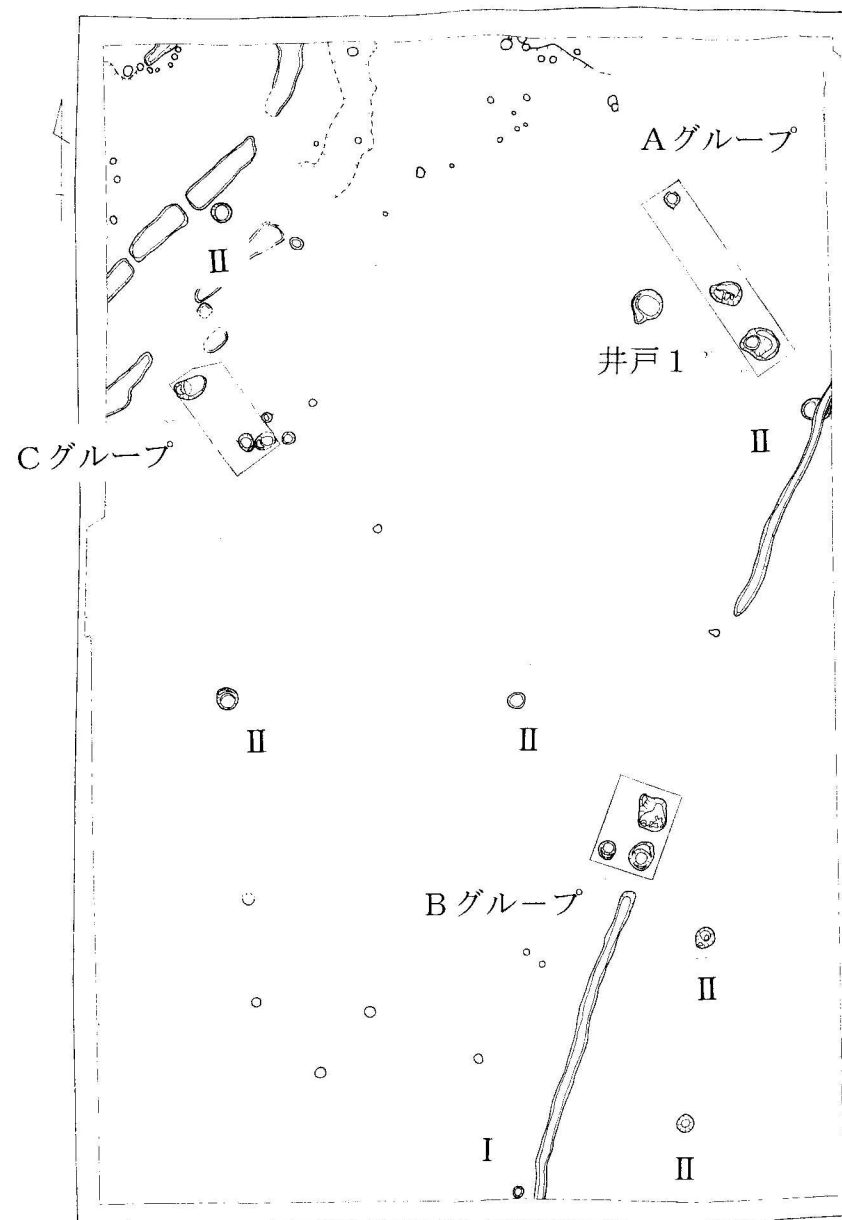
今回の調査により、南方遺跡の東ムラにおける弥生時代前期集落の実態の一部が明らかとなりました。ムラを区切る溝には柵列が伴っています。同様の景観は、岡山県矢掛町の清水谷遺跡、香川県丸亀市中の池遺跡などでもみつかり、いずれもムラの周囲に溝を廻らした環濠集落です。今回検出された溝は直線的ではありませんが、さらに北側に調査をすすめていく過程で、一部を区切る溝なのかムラの周囲を区切る溝なのかが明らかになると思われる。当地の代表的な弥生時代の集落遺跡である南方遺跡の実態を解明する調査成果が期待されます。



南方（後楽館）遺跡前・中期遺構配置図

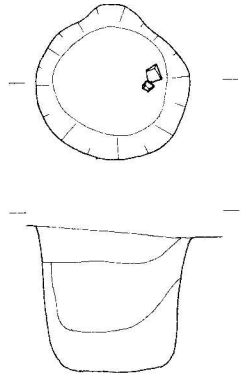


南方（後楽館）遺跡前期遺構配置図

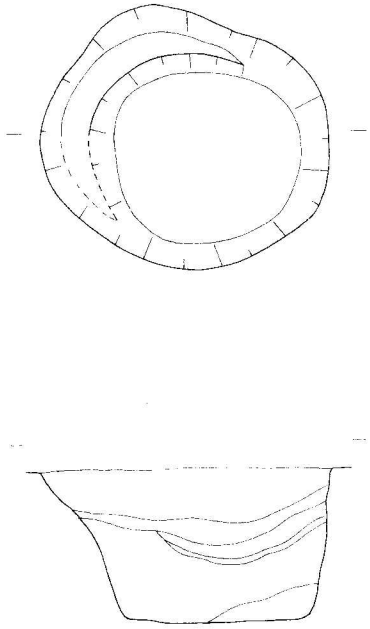


南方（後楽館）遺跡中期遺構配置図

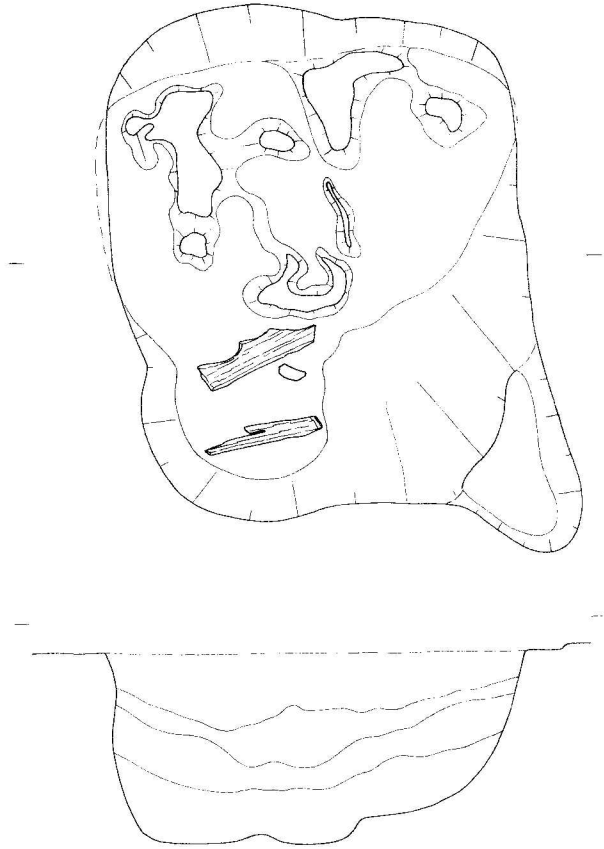
I タイプ



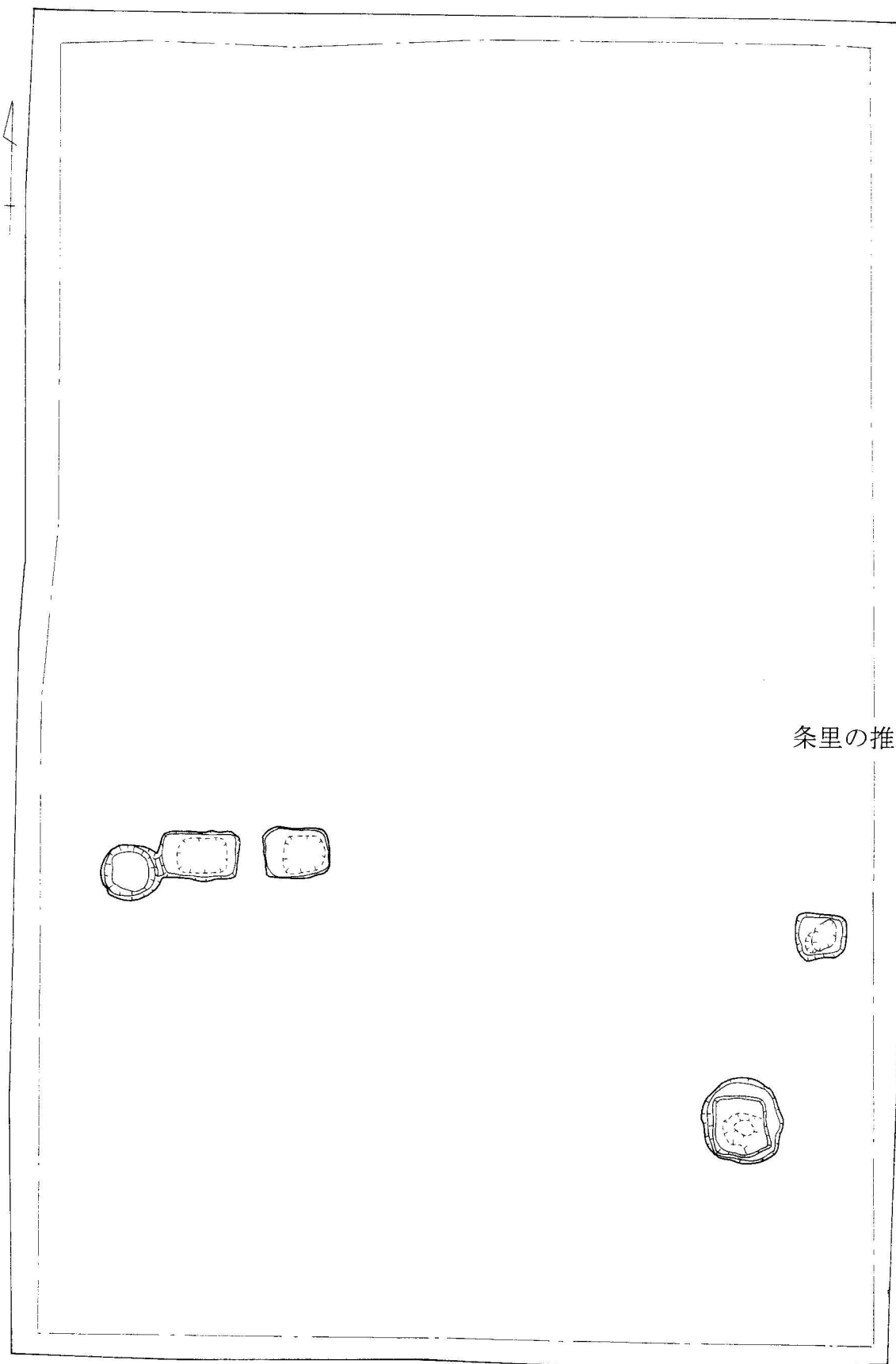
II タイプ



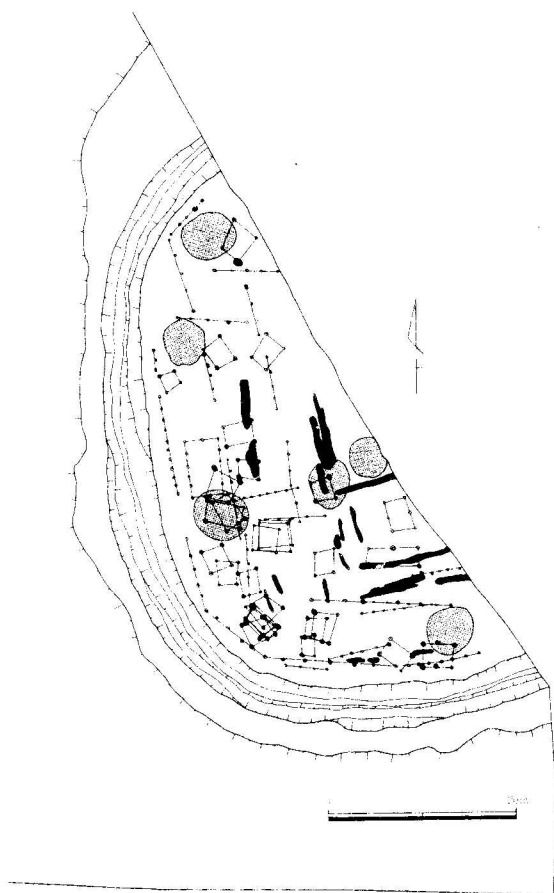
III タイプ



土坑の種類図



南方（後楽館）遺跡江戸時代遺構配置図



清水谷遺跡



中の池遺跡

### 岡山市埋蔵文化財センターご利用案内

**所在地** 〒703-8284 岡山市中区網浜 834-1

(TEL:086-270-5066 FAX:086-270-5067)

**公開時間** 午前 9 時から午後 4 時 30 分まで

**休館日** 日曜日、国民の休日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）

**入館料** 無料

**交通案内** 両備バス 「網浜中」下車、徒歩 5 分

岡山駅から

- ・新岡山港行（天満屋・新道経由、四軒屋経由、山陽学園・四軒屋経由）
- ・岡山ふれあいセンター行（四軒屋経由、山陽学園・四軒屋経由）
- ・桑野営業所行
- ・倉益南行

**所要時間** 岡山駅から約 15 分

**URL** <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/maibun/>